



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200000906/F/USA/JP

承認日: 2001年10月4日

作成日: 2003年12月1日

1 製品名

コダック リタッチング カラー, イエロー

CAT No.189 0888
CAT No.194 6631

セット
単品

2 危険・有害性の分類

危険: 感熱性 - 熱により分解する。

3 物質の特定

混合物

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
ポリエチレングリコール	75-80	025322-68-3	
黄色染料	15-20	適用なし	

4 応急措置

吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
眼に入った場合 : 眼に入った物質を直ちに水で洗い流す。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 水とセッケンで洗い、症状が出たら、医療手当てを受ける。
誤飲した場合 : コップ 1-2 杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医療手当てを受ける。

5 火災時の措置

消火手段 : 水スプレー、二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤
火災時の特別対応手段 : 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
有害燃焼物質 : 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素
異常火災 / 爆発の危険性 : なし

6 漏出時の措置

拭きとり、化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分拭きとる。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
 火災や爆発の防止 : 酸化物質に接触させない。
 保管 : 密栓して保管する。

8 暴露防止措置

許容濃度 : 確立されていない。
 換気 : 換気の良い場所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならぬ。
 取扱い : 眼への付着を防止し、皮膚への付着、吸入を最小限にする。
 呼吸器系の保護 : 必要なし
 眼の保護 : 眼への付着を最小限にする。側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡を着用する。
 皮膚の保護 : 皮膚への付着を最小限にする。長時間、あるいは繰り返し皮膚に付着するような操作では、不浸透性の手袋を着用する。
 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 物理・化学特性

外観 : 固体(ワックス様)
 色 : 黄色
 臭気 : 無臭
 蒸気圧 : -
 蒸気密度(空気 = 1) : -
 蒸発率(n - 酢酸ブチル=1) : -
 揮発留分(重量) : -
 比重(水 = 1) : > 1.0
 pH : -
 水溶性 : かなり溶ける
 引火点 : - (可燃性固体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定。しかし、180°C 以上では物質が分解する可能性がある。
 不適合物質 : 強酸化剤
 危険分解物質 : 塩化水素
 危険重合物質 : 知見なし

11 有害性情報(暴露の影響)

吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予想される。
 眼 : 知見なし。一過性の炎症を起こすことがある。
 皮膚 : 通常取扱いでは、危険性は少ない。
 誤飲 : 危険性は少ないと予想される。

12 環境影響情報

この製品は自然環境に及ぼす影響については試していません。

13 廃棄時の注意

焼却する。

14 輸送上の注意

Air Transportation
Class :
国連番号(UN Number) :
Proper shipping name :
Subsidiary risk :
Packing group :
Passenger aircraft :
Cargo aircraft only :
Further information :

15 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR 法) :
毒物劇物取締法 :
労働安全衛生法 :
消防法危険物分類 :

16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取扱いには注意して下さい。